

## 町田市議会・志政クラブ

# 吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



双方向の情報交流

町田市議会

所属: 志政クラブ

〒194-8520

東京都町田市

森野 2-2-22

☎042-724-2127

## 市長の再議で議会の予算修正が破算：風しんワクチン

第 2 定例会においては、市長が提案した補正予算に対して、私が所属する市議会の会派（＝志政クラブ）単独で修正案を提案し、賛成多数で予算の修正が可決しました。

歴史を振り返ると予算の修正案が可決と言う事態は 32 年ぶり（の快挙）とのことですが、市長は「再議」と言う手段で、臨時議会を開催させて、元案を再び議会にかけました。

再議では 3 分の 2 以上の修正案支持が必要であり、市長の思惑通りに我々は敗れ、事態は収束しました。ただし、これは市民にとっては不幸なことです。私たちの提案（＝流行する風しんの予防ワクチンを町田市でも無料で接種する予算措置を組み込んだ予算修正であったもの）が否決となり、半額（5 千円）を本人負担に差し戻す内容の予算が決定したものです。

この本人負担を求めた市長の再提案に対して、私が次の趣旨の「質疑」を行いました。すなわち、全国の多くの自治体では公衆衛生の観点から緊急措置としてその行政負担を行い、国が共通施策として財政負担を求めていることを資料として示し、個人負担無しとした近隣自治体の考え方を示しました。八王子市は多摩地域のリーディングシティの考えを持っており、「子どもたちの安全・健康を守る」視点で風しんワクチン接種の無料化を図り、多摩市は「子育て支援が重点施策」と言う考え方で同様に無料で実施をしています。

今回、町田市は公衆衛生の分野でも、自己負担を原則とするリーディング都市の宣言をしたようです。



## 市議会は付帯意見を付ける

「再議」の採決詳細では、我々の提案した修正案が 17×15 と言う多数意見ながら 3 分の 2 以上を必要とする「再議ルール」で否決となりました。ただし、この元の予算案自体に、東京都が風しん予防接種の半額負担をする内容を盛り込んだ事業が入っており、元の予算案自体をつぶすわけにはいかないと言う見地によって、私たちを含めて、市議会は最終的に可決の判断をしました。

なお、市議会はこの市長方針を丸呑みするわけにはいかず、この内容に関して、「ワクチンが安定供給される見通しが立てば、本人負担の一部を町田市が助成することを求めた」趣旨の付帯意見を賛成多数で決めました。ただし、この付帯意見と言うのは執行者の市長に対して強制力を持っていません。執行機関の長である市長には、地方自治法によってそれだけの権力が与えられているわけです。

今回の争いは、問題を広く住民の皆さんに提起して当事者の問題として考えていただく余裕がありませんでした。メディアが事前に問題提起をするべき立場を見落としていたこともその原因の一つでしょう。それでも、地方議員は我慢強く議会の内外で「正論」を展開していくべきものと、私は考えています。

## ★マルチメディア双方向発信 吉田つとむ発見動画チャンネル

URL <http://j-expert.jp/> ユーチューブ <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

## 町田市議会・志政クラブ

# 吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



インタビュー生募集中



携帯QRコード  
でブログ閲覧

## 実際に今年65歳を迎えた

私は、今年の6月24日をもって65歳となり、社会的・政治的な色分けでは「前期高齢者」に位置付けられました。過去に、「後期高齢者」という用語が人を馬鹿にしていると問題になりましたが、現実にはその言葉も存在し、位置づけも変更になっていません。

さて、この「前期高齢者」とは65歳から74歳までの世代であり、日常生活の中で変わることは、これまで介護保険料が医療保健（私の場合は、国民健康保険の一部として徴収）の一部として徴収されてきましたが、この分が年金から天引きされるか、個別納付の方法に変わると言う知らせがありました。手始めに、第1期（7月31日までに納付）から第8期（来年2月末の納付期限）の通知書が郵送されてきました。また、この65歳以上になったと言うことは、社会的には「生産年齢人口」（15歳～64歳）から外されたこととなります。現実社会では、15歳からの労働は稀であり、他方で70歳の通勤就業者も多数あります。自分の仕事が「生産」と言う用語にぴったりするわけではないですが、「引退」はまだまだ先のことだと言う理解をしています。

また、この「生産年齢人口」（15歳～64歳）は「従属人口」と言う表現もあります。ひどい扱い方の表現ですが、その憤りは、自分がその世代に到達しないと実感しない問題ではあるでしょう。ただし、現実には、この世代（団塊世代）は、いまだに次の世代の面倒を見ている人も多いようです。

これからの自分は今までの経験を活かして粘り強く働き、鋭い問題提起ときらりと光る情報発信を継続して展開していきたいと思っています。

## 風しんワクチンの不足を解消する措置を講じることを求める意見書

今度の第2定例議会では、風しんワクチンの接種費用の負担問題で、住民負担を求める市長に対して、その予算修正を可決するまでに至りました（後日、再議で否決）が、並行して、表題の意見書を会派（志政クラブ）で提案し、全議員の賛成を得ました。内容の趣旨は下記の通りです。

今後、風しん予防接種者が増加の一途をたどる見込みで、現状では本年8月末には風しんワクチンが不足するとされている。その対応策として、国は検査で抗体が不十分だった妊娠希望者や、妊婦が近くにいる男性らの接種を優先するようすすめている。

ただし、それでは抜本的な対策にはならず、国においては国民の健康増進の施策として、風しんワクチンを速やかに確保して、安定供給することが急務である。

よって、国が責任を持って、その風しんワクチンの不足を解消するための必要な措置を速やかに講じることを求める。

（この意見書は、私が壇上で提案し、全会一致可決したものです）



★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

◇ どうぞ、町田市政や議会に関するご要望や、ご意見をお気軽にお寄せ下さい。

Mail : [yoshidaben@gmail.com](mailto:yoshidaben@gmail.com) mobile: [yoshidaben@docomo.ne.jp](mailto:yoshidaben@docomo.ne.jp)